

(様式1)

令和7年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 069	提案機関名 神奈川県内水面漁業協同組合連合会
要望問題名 相模湾産短期アユ種苗の安定生産について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 厚木市内に内水面漁業の振興を目的としたアユ中間育成施設が整備され、本連合会は相模湾由来の相模湾産稚アユ及び神奈川県が一財)神奈川県内水面漁業振興会に委託して生産した相模湾産短期継代アユ種苗を用いて、河川放流に適した種苗の育成に努めています。 しかし、相模湾産稚アユ種苗は、海で採捕される天然種苗のため多くの不安定な要素を含んでおりますので、本県のアユ漁業を維持するためにも相模湾産短期継代アユが安定供給されるように同種苗の安定生産をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備 考	

回答機関名	水産技術センター	担当部所	内水面試験場
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) アユ人工種苗研究			
対応の内容等 内水面試験場では、短期継代種苗の卵供給のため、平成25年3月に新規親魚候補として相模湾産稚アユを導入し、平成26年には受精卵を内水面種苗生産施設に供給して事業規模でのF2種苗の生産を行い、平成27年春に河川放流を開始しました。その後も、平成28年にF3種苗、平成29年にF2種苗を放流し、現在まで、毎年交互にF2、F3を放流することができました。また短期継代種苗親魚は、天然に近いため採卵が不安定ですが、令和元年から飼育水を冷却することで早期かつ集約して採卵することができました。今後も引き続き継代数の少ない相模湾産系稚アユの生産が、安定的にできるよう努めてまいります。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備 考			